



取扱説明書



安全のための注意事項:

- ・ この取扱説明書をよくお読み下さい。
- ・ この取扱説明書に書いてある事柄を順守して下さい。
- ・ 警告事項には十分注意して下さい。
- ・ 取扱説明書の指示に従って下さい。
- ・ この製品を水の近くで使用しないで下さい。
- ・ この製品を拭くときは乾いた布を使用して下さい。
- ・ 正しい電圧・電流を供給する、アースの取れた電源アダプターまたはユニバーサルタイプの電源(ペダルボード電源)を使用して下さい。誤った電圧や電流で当製品を使用すると、音質が損なわれたり、パフォーマンスが一定でなかったり、また製品にダメージを及ぼす危険があります。この説明書の末尾にある、正しい電圧・電力量・そしてアースグラウンドの仕様をご確認下さい。
- ・ 電池交換の際は、製品の底にある電池蓋を外します。内部部品の一部は大変精密で静電気によってダメージを受けやすいため、十分注意して下さい。BOOSTモードと通常モードの音を(蓋を開けたまま)聞き比べる際は、底部が上になるように製品を逆さに向けて下さい(電源が入っている際は、決して蓋を開けたまま製品の底部が下を向かないようにして下さい!)

この度は本製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。そしてMESAファミリーへようこそ!優れた品質の高い製品を作り出し顧客のニーズに対応するべく、我々はアメリカはカリフォルニア州にあるPetaluma(ペタルマ)の唯一の工場の一つ一つ同じ情熱をもって製品を完成させています。また、あなたが選ばれたこのエフェクトペダルは、ハンドビルドの高級アンプに携わっている、全く同じ人間の手によって生産されているのです。

FLUX-FIVE™

FLUX-DRIVE™の太くスムーズで表現力豊かなゲインサウンドは、アーティストやプレイヤーの間でも大変好評を博し、世界中の批評家達の賞賛も得たことで、5-BANDグラフィックイコライザーを搭載したモデルについても受け入れられるものと我々は考えました。

FLUX-FIVE™オーバードライブは、好評を得たFLUX-DRIVEを少し大きくした”スーパーチャージャー”バージョンで、MESAの”クラシック”5-BANDグラフィックイコライザーを搭載、また新たに追加されたHI/LO切り替えモードによって更に機能がアップしました。LOゲインモードはオリジナルのFLUX-DRIVEを踏襲しており、より高めめのゲイン設定のHI

モードでソルフルなサウンドを楽しめます。またグラフィック・イコライザー(EQ)で有名な“Vカーブ”セッティングを作り、分厚いゲインの層によって巨大なヘビーロック・メタルサウンドを、温かなサウンドキャラクターを持ったまま生み出せるのです。オリジナルにもあったTREBLEとBASSのEQコントロールは、グラフィックEQ(グライコ)とのコンビネーションによってどのような音楽ジャンルでも固有のサウンドを奏でます。またグライコはHI/LO両モードで有効になるので、広い範囲でのEQ設定またはそれぞれのゲイン設定で異なるEQの設定が可能となります。HI TRIMポットは、オリジナルのFLUX-DRIVEのサウンドであるLOモードと相互に関係しながら、HIモードの音量をブーストします。あらゆるトーンの可能性を試すことが出来るこのFLUX-FIVE™オーバードライブは、演奏するプレイヤーにインスピレーションを与え、またベストなサウンドを引き出すことでしよう。

機能と操作について

OUT(アウトプット)ジャック 楽器用ケーブルをこのジャックに接続し、反対側をアンプまたはアンプ側のエフェクトペダルのインプットジャックに接続します。

IN(インプット)ジャック 楽器用ケーブルをこのジャックに接続し、反対側をご使用の楽器(ギター)のジャックに接続します(高品質のシールドケーブルのご使用をお勧めします)。このジャックはスイッチングタイプとなっており、ケーブルを接続すると回路がONになります。ケーブルの接続によって回路がONになると内部の電池も消耗しますので、使わないときはケーブルを抜いておきます。

注意: インプットジャックにケーブルを接続したままにしておきたい場合は(ペダルボードご使用の場合)、外付けのDC9V電源アダプターのご使用をお勧めします。電源アダプターを使用時は内部電池からの電源供給が自動的にオフになりますので電池の消耗を防げます。もし外部電源アダプターをペダルボード内で長期間使用する場合は、エフェクター内部の電池を取り外しておいて下さい(電池の腐食によるエフェクター内部の損傷を防げます)。

注意: ケーブルについてですが、エフェクター等に楽器を接続する際は、なるべく短くかつ高品質の楽器用シールド・ケーブルを使用するようにして下さい。そうすれば長いケーブルの引き回しによる音の劣化(特に高域のロス)を最小限にとどめます。我々、楽器のジャックからアンプのインプットジャックまでのトータルが約5.4~6mの長さとなるように推奨しています。もしそれ以上の長さが必要になる場合は、音質を保つためにバッファやラインドライバの使用も一つの方法としてお考え下さい。

LEVEL(レベル)コントロール 出力レベルのマスターコントロールで、アンプ側に送られるシグナルの量を決定するものです。ハイゲインセッティングで使用時は、バイパスに切り替えた時でも音量が急激に上がることがないように音量を調整します。また、アンプ側によりホットなシグナルを送りゲインが増すよう、故意に入力レベルを上げることも可能です。

HI TRIM(ハイ・トリム)コントロール この小さいノブは、LOモードの音量と相互に関係しながら、HIモードの音量をブーストします。このコントロールを使用することでHIモードの音量をLOモードよりも大きめの音量に設定することが可能です。

が、LOモード時のLEVELコントロールのセッティングより下に設定することは出来ません。そのような意味では、HI TRIM コントロールはMESAアンプのSOLO™コントロールのように機能する、「ブーストすることのみ」を目的とした実践的なものです。特に、LOモード時にグライコを使用する際、スライダーで音量レベルがブーストされているときに効果を発揮します。このときHI TRIMはHIモードの相対的な音量をブーストし、曲中の特定のパートやソロ等においてLOモードよりも音量を大きくすることが出来ます。

BASS(ベース)コントロール このコントロールはTREBLEとペアになっており、低域の調整に使います。低め(7時半～12時)に設定すると、痩せてタイトなパーカッシブな音色となります。高めの設定(12時～5時半)にすると、低域が厚くなり、サウンドに肉付けがされるような、重みのある低音になります。ピックのアタックを重くして、BASSコントロールを高めにする事で、歯切れが悪く引きずるような、超低音が得られます。

TREBLE(トレブル)コントロール このコントロールは、全体的なミックスの中の高域の量を調整するもので、TONEコントロールしかないペダルに比べ、低域とは別に高域のみをより細かく調整できるようになっています。低め(7時半～12時)に設定するとダークなサウンドとなり、丸くつぶれたようなサウンドとなります。高め(12時～5時半)に設定すると、よりオープンな高音域において、明るく、タイトかつ攻撃的なサウンドになります。

注意：LO/HIどちらのゲインモードにおいても、グライコがONになっているときは、EQの設定を過剰にしてしまう危険があります。これらBASS/TREBLEコントロールとグライコのスライダーを使って、どの帯域においてもおおげさにならないバランスの取れたサウンドになるように設定して下さい。

GAIN(ゲイン)コントロール LO/HIモード両方のシグナルパスのゲインの量を調節します。

低め(8時～10時半)の設定では、わずかにオーバードライブしていますがまだ柔らかく、クラシックで中域にパンチのあるサウンドです。LOモードで使用する場合、少しプッシュされたスレッシュホールドがクリップしたりリズムサウンド、またはブルーズのソロサウンドにうってつけです。HIモードでは、より吼えるようなブルーズ/フュージョンのソロサウンドやクラシック・ロックのリードサウンドに最適です。

真ん中あたり(10時半～1時半)の設定が最も多様に使えるゲイン領域となりますが、歪み始めていてもまだダイナミックなパンチは残っており、輪郭のはっきりしたタイトなサウンドです。またHI/LO両モードにおいて適度な歪みとなっているため、どのような音楽ジャンルのバックアップ/ソロ演奏にも使用できます。

高め(1時半～5時半)の設定では、分厚い歪みが得られます。エクストリームロックやメタルといったヘビーなスタイルに適しており、かつ単音でのソロサウンドにも有効です。LOモードで過去の偉大なロックのソロを弾いてみるのも良いでしょう。

FIVE BAND GRAPHIC EQ(5-BAND グラフィックEQ) HI EQ / LO EQと表示されている2つのミニ・トグルスイッチと5個あるスライダーは、FLUX-FIVE™のグラフィックイコライザー(EQ)セクションを構成するものです。ミニ・トグルス

イッチは、グライコ(EQ)のHI/LOそれぞれのON/OFFを切り替えます。スライダーの下にあるカーブしたバーは、演奏中に誤ってスライダーを踏まないように保護するためのものです。

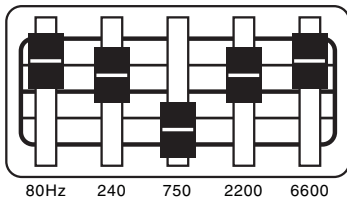
グライコ(グラフィックEQ)は、スライダーポットそれぞれの帯域で+/-12dBのカット/ブーストが可能です。それによってとてもパワフルなレスポンスが得られますが、注意深く行わないとカットによって周波数に簡単に穴が開いたり、または耳障りなピーク(ブースト)を作ったりしてしまいがちです。

スライダーによって無限にプレイヤー自身のシグネチャーサウンドが生み出せる一方で、一つの特別な周波数カーブがロックの歴史で名を刻みました。それがクラシック“Vカーブ”です。真ん中の(中域)750Hzスライダーが下げられ、くぼんだサウンドを作るためにかなりの量の中域がカットされています。

次の二つ、Low(低域 80Hz)とLow Mid(低-中域 240Hz)のスライダーがブーストされ、スタート位置の線の上の、真ん中と一番上の間に設定されており、巨大なボトムエンドを形成しています。

そして最後にHi Mid(高-中域 2200kHz)とHigh(高域 6600kHz)もブーストされ、スタート位置の線の上の、真ん中と一番上の間に設定されており、トップエンドに倍音のレイヤー(層)を形成します。

クラシック“Boogie V カーブ”の例



こうしてBoogie®の“Vカーブ”が完成します。多くのアイコンとなるアーティスト達が、ヘビーなサウンドスタイルを得るためにこのセッティングを40年に渡って使用しており、この素晴らしいサウンドに迫るものはそうはありません。そしてこのミッドカットされたカーブは他の用途にも有効で、エキサイティングなものになります。

ここからは、この象徴的な“Vカーブ”を、お持ちのアンプやスピーカーキャビネット、ギターやピックアップまたその演奏方法にフィットするようにスライダーを調整してみてください。我々是一个の例としてこの究極的にポピュラーなカーブを紹介しましたが、実際は“正しい”カーブなんてものはありません。ただあなたの耳や手が納得するまで、色々なセッティングを試してみてください。

注意: 一般的にお勧めできるのがEQをOUTにした”フラットな”設定ですが、理由は必要以上にEQを操作することによって、欲しいサウンドがよく分からなくなることがあるからです(特に真ん中の750Hzの帯域でよく起こります)。耳が中域の無いほうに慣れていき、多くの人がよりもっと中域をカットしがります。そんなときは、ギターという楽器が本来”中域”の楽器であることを思い出し、音のミックス上で抜けを良くするように中域を加えてみて下さい。

HI/LO(切替)フットスイッチ HI-LO切替フットスイッチはゲイン回路に組み込まれており、二つの異なるゲイン領域(オーバードライブ・レベル)を作り出します。このフットスイッチで、HI/LOゲインモードを切り替えます。

LOモードは、クランチサウンドやクリップしたコード演奏または中レベルのゲインでのソロサウンドに有効です。HIモードは歪みがより増して、ヘビーロックやメタルのバックিংまたは燃えるような単音リードソロサウンドに適しています。LOモードでは、低めまたは中レベルのゲインサウンドでのブルーズやR&Bまたはわずかな歪みで事足りる際には最適なバランスとなります。HIモードではゲインがアップし、よりオーバードライブとサステイン、倍音の層が加わります。HIモードでハイゲインの設定にすれば、最大の歪みと倍音豊かなサステインが得られます。

BYPASS(バイパス)スイッチ このスイッチはFLUX-FIVE™を”ハード”バイパスします。シグナルパスから全ての回路が離れ、インプットからアウトプットまで一本のワイヤーで信号が伝達されます(ギター用ケーブルで使用されているすごく短いワイヤーと同じようなものです)。バイパス時は全てのコントロールが信号に対して無効になり、FLUX-FIVE™による色づきが何もされないギター信号となります。

注意: ケーブルは長くなればなるほど静電性を帯びて高域のロスが生じますので、出来るだけ短めのケーブルを使用して下さい。

外部電源ジャック 外部電源アダプター(標準9V DCアダプター、プラグタイプはオス型)から電源を取る際のメス型ジャックです。

注意: 本製品には電源アダプターが付属していません。

警告! 外部電源アダプターは、DC9Vのセンターマイナスのプラグ極性(2.1mm x 5.5mmジャック)のものを使用して下さい。機器にダメージを与えないために、AC9V電源アダプターは決して接続しないで下さい!

電池について 電源アダプターを電源ジャックに接続すると、内部電池からの電源供給が自動的にオフになりますので、電池の消耗を防げます。もし外部電源アダプターをペダルボード内で長期間使用する場合は、エフェクター内部の電池を取り外しておいて下さい(電池の腐食によるエフェクター内部の損傷を防げます)。

当製品は9V電池1個または標準の9V”DC”電源アダプターでの使用が可能です。楽器店ですぐに試奏やデモンストレーションが行えるように、工場からは長寿命9V電池同梱で出荷されます。

注意:内部電池は、インプットジャックのスイッチ切替機能でON状態(電圧がかかった状態)になります。バッテリーを長持ちさせるためには、製品を使用していない時ケーブルをインプットジャックから抜いておくようにしてください。

9V電池のチェック、交換、取り外しの際には、外部電源ジャックの接続を切り、裏蓋の四隅を留めているプラスねじ4本を外してください。バッテリー、端子の向きを確認して、交換後も同じ向きになるようにしてください。

注意:9V電池ならどのようなものでも使用が可能です。マンガン電池、アルカリ電池だけでなく、充電式のニッケルカドミウム電池もご使用可能です。エフェクターマニアな方の中には、一般的なマンガン電池ならではのスイートな音を好む方もいますが、当製品に関しては、プレイヤーの好みに合わせて自由にお選びいただくことが可能です。

SPECIFICATIONS(仕様)

- ・ 寸法 (W/D/H): 5.78" x 4.76" x 2.30" (146.8mm x 121mm x 58.4mm)
- ・ 重量: 1.7lbs(771g)/電池1個込、1.6lbs(726g)/電池なし
- ・ ツールバイパス・スイッチ
- ・ 電池: 9V DC (1個)
- ・ 消費電力: 9VDC/23mA
- ・ 電源アダプター (別売): Power Jack 2.1mm x 5.5mm, 9V DC センターマイナス
- ・ 入力インピーダンス: 1M Ω (最小500k Ω)
- ・ 出力インピーダンス: 10k Ω

LO - BIG CRUNCH



LEVEL



BASS



TREBLE



GAIN



HI TRIM

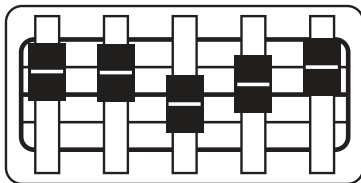


HI EQ

ON



OFF



80Hz

240

750

2200

6600



LO EQ

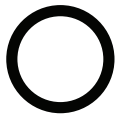
ON



OFF

← OUT

IN ←



HI / LO



BYPASS

LO - CLASSIC ROCK



LEVEL



BASS



TREBLE



GAIN



HI TRIM

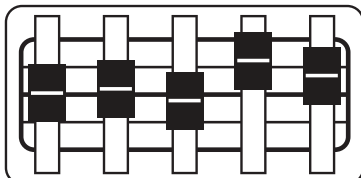


HI EQ

ON



OFF



80Hz

240

750

2200

6600



LO EQ

ON



OFF

OUT

IN



HI / LO



BYPASS

HI - CLASSIC V-CURVE



LEVEL



BASS



TREBLE



GAIN



HI TRIM

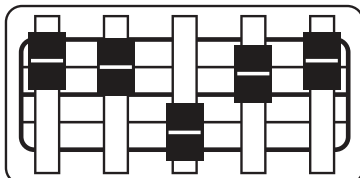


HI EQ

ON



OFF



80Hz

240

750

2200

6600



LO EQ

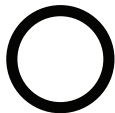
ON



OFF

← OUT

IN ←



HI / LO



BYPASS

HI - MID-BUMP SOLO



LEVEL



BASS



TREBLE



GAIN



HI TRIM

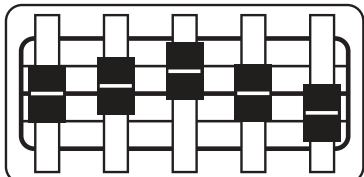


HI EQ

ON



OFF



80Hz

240

750

2200

6600



LO EQ

ON



OFF

← OUT

IN ←



HI / LO



BYPASS

MESA/BOOGIE[®]

The Spirit of Art in Technology



ギブソン・ブランズ・ジャパン株式会社

Email: service.japan@gibson.com

「@gibson.com」からのメールを受信できるよう設定をお願いいたします

お電話でのお問い合わせ窓口：0120-189433（通話料無料）

受付時間 9:30 - 17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）